

平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について

江戸川区立西小岩小学校

◆各教科の調査結果（正答率）

教科	A 教科の内容		B 読み解く力に関する内容		AとBの合計	
	学校	東京都	学校	東京都	学校	東京都
国語	63.5%	65.0%	66.7%	68.3%	64.0%	65.5%
社会	71.8%	73.5%	55.8%	58.1%	67.4%	69.3%
算数	60.0%	57.5%	28.9%	31.3%	54.0%	52.4%
理科	69.6%	70.8%	72.5%	66.7%	70.5%	69.6%

◆観点別の調査結果（正答率）

教科	A 教科の内容									
	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 (国語・話す・聞く)		技能 (国語・書く)		知識・理解 (国語・言語)		読む	
	学校	東京都	学校	東京都	学校	東京都	学校	東京都	学校	東京都
国語	94.8%	93.8%	73.3%	80.9%	37.2%	39.6%	53.7%	53.3%	73.3%	74.1%
社会	91.9%	87.4%	70.9%	71.6%	73.7%	77.7%	57.0%	60.9%		
算数	84.3%	85.0%	37.6%	38.1%	67.3%	64.5%	59.8%	52.9%		
理科	94.8%	91.0%	56.7%	60.7%	62.0%	64.0%	78.8%	78.4%		

教科	B 読み解く力に関する内容					
	取り出す力		読み取る力		解決する力	
	学校	東京都	学校	東京都	学校	東京都
国語	73.3%	71.2%	64.0%	68.4%	62.8%	65.2%
社会	76.2%	70.6%	44.8%	52.2%	46.5%	51.6%
算数	50.6%	52.0%	16.3%	21.4%	19.8%	20.6%
理科	77.9%	71.2%	76.2%	70.9%	63.4%	58.0%

<考察>

A「教科の内容」…国語・社会・理科。B「読み解く力に関する内容」…国語・社会・算数。これらが、都平均を下回った。特に、毎年の課題である「読み解く力」が今年も低い。加え、今年は「解決する力」も低い。国語では、話し合いの内容を正確にとらえたり、話し合いの発表をもとに自分の意見をもつこと、修飾と被修飾との関係を理解することが苦手である。他教科等と関連付け、集団の意見をまとめる話し合い活動の充実を図る指導をしていく。日常的な読書活動、言語活動等の実践を工夫した点が必要である。補習でもそこに重点をおいた対策をとっていきたい。また、根拠を明確にしたり、文章の前後関係を明確にしたりしながら文章を丁寧に読ませることや理科、社会では、資料、データと関連付けて考える力が養えるよう授業改善が必要である。算数では、「技能」、「知識・理解」を除き、都の平均を下回った。算数の少人数指導や補習、ステップ学習などを活用し、今後も基礎・基本を徹底する。また、二つの観点から分類整理したり、様々な観点から特徴や傾向を調べたりする指導の充実を図る。